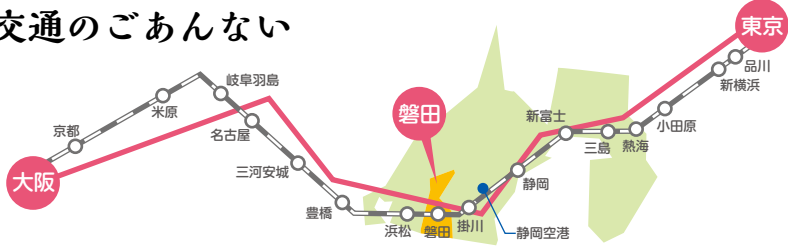


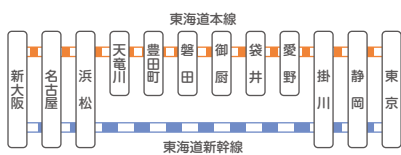
ボクと一緒に
歴史のロマンを
探してみようよ！



交通のごあんない



●電車でお越しの方



東海道本線 浜松～磐田(12分) 磐田～掛川(14分)
東海道新幹線 東京～掛川(こだま号約1時間50分)
新大阪～浜松(ひかり号約1時間25分・こだま号約2時間)

●車でお越しの方



★磐田の名所・観光のこと、お気軽にお問い合わせください。

磐田市観光協会

- ◆〒438-0078 静岡県磐田市中泉1-1-5 (JR磐田駅北口)
- ◆TEL0538-33-1222 ◆営業時間 9:00～18:00
- ◆休館日 月曜日(ただし、月曜日が祝日の場合はその翌日。12/29～1/3)
- ◆<https://kanko-iwata.jp>

携帯電話でイベント
情報を確認できます



ありがた歩記

磐田
豊岡
地区編

磐田の寺社をぐるぐるつと散策
連綿と受け継がれる歴史を感じて



あるき 豊岡地区 ありがた歩記

みんなに良い
ご縁がありますように...

今回は、様々な時代の痕跡が残る豊岡地区の寺社仏閣を中心に紹介します。血松塚古墳などの古墳があることから遠い昔からこの場所に人々が生活していたことがうかがえ、奈良時代に開かれた岩室廃寺、戦国時代の言い伝え、近々の偉人のエピソードもたくさん詰まった豊岡地区。天竜川の氾濫や戦火による火災などの悲しいお話もありましたが、人々の願いで再建し、今もにぎわいが続く温かさを感じました！あったかいうってイネー♪



©磐田市
じっぺり

お寺・神社巡りがもっと楽しくなる!!

和尚さんに聞いてみよう!!

お寺巡りが今とっても人気ですが、お寺や神社を訪れてみなさんは何をしますか？お願い事をしたり、仏像をみたり…。せっかく訪れたのだから、和尚さんとお話してみませんか？和尚さんは、お寺のこと、仏教のこと、地元のこと、いろんなことをたくさん知ってるんですよ。和尚さんを見つけてぜひお話してみましょう。境内で誰かにあったら挨拶しましょうね!

和尚さんって怖くないかなー
座禅させられて
カーッってやられちゃうよ!

大丈夫!
和尚さんは
楽しくて
やさしい人
ばかりだよ!



お寺はみんなの場所で
大切な文化財もたくさん
あるから丁寧に参拝しよう!



観光ボランティアさんに 教えてもらおう!

ふれあいガイドさんって知ってますか？
なんと〜知ってるけど〜って方がほとんどかと思えます。ガイドさんは、観光スポットや名所・旧跡などを一緒に行きながら案内してくれるんです。地元で伝わるお話やパンフレットには載ってない裏話などなど…おもしろいお話がたくさん聞けますよ〜。2週間前までに電話かFAXでお申し込みください。磐田の魅力をたっぷりお届けします！
くわいのお問い合わせは、
磐田市観光協会 ☎0538-33-1222まで



観光ボランティアさんと
イベントに参加された方々

地元の人でも
市外から訪れた人も
誰でも案内します!



おすすめの巡り方紹介

人の温かさや癒やされる寺社巡り

広々とした境内と貫禄のある本堂

川の名前にもなっている一雲濟川を進み、広くて長い寺へと続く参道を行くと立派な門があります。灯籠の立ち並ぶ先に貫禄のある本堂が見え、手入れの行き届いた広い庭を歩くと心が癒されるようです。

ゆつたりと時が流れる
永安寺



車で
約10分
(約4km)

栄華がしのばれる一雲斎

1 地図番号



車で
約10分
(約4km)

善意の心がうかがえる
法音庵

4 地図番号



車で
約5分
(約2.5km)

美しい境内の
天龍院

2 地図番号

のんびりと歩きたい参道

道から見えるお堂の横の門をくぐると真っすぐ伸びた参道が続いています。両脇に浄光寺、永明寺があり、正面にのどかな風景に囲まれた本堂が見えてきます。浄光寺の阿闍(あしゆく)如来の御札は「白壁館」でいただけます。

地域の人たちに愛されるお寺

お寺に奉仕される方が多く、清々しいお寺です。本堂でご住職が書いた「書」や「絵」を見せていただきました。かわい絵の「御朱印」や、たくさんの作品を見ることができ、ほっこりするイラストに思わず笑顔になります。

イベントに参加してみよう!

磐田市観光協会では、いろいろなイベントを企画中!!ぜひ、いろんなイベントに参加してみよう!磐田駅前の観光案内所では磐田にとっても詳しいコンシェルジュが皆さんの旅のアドバイスをしてくれます。観光の際はぜひお立ち寄りください。

★季節のイベントなどの情報がたくさん掲載された磐田市観光協会のホームページも要チェック!!



いろんなイベントが
たくさんあるんだね!



観光案内所で
教えてくれるよ!

豊岡地区周辺の寺社巡り。

磐田市の北部、豊岡地区は奈良時代に開かれたと言われる「岩室廃寺」や戦国武将にまつわる言い伝えが残っています。ロマンを感じる地域を巡る。



船岡田市の一番北側、豊岡地区のあたりを歩きます。天竜川が西側に流れ、流域には諏訪神社が点在しています。あざれ天竜と言われた天竜川の氾濫の影響や戦などの火災を受けたお寺なども人々の力で再建されたお寺など多々あります。今でもお寺に集まり行う行事などで地元の方がお寺や地域の人のつながりを大切にしていることが感じられます。人の温かさに癒やされたのんびりとした雰囲気を味わうことができます。感じられる豊岡地区でたくさん利益をもらいに出かけませんか。



火事にお寺が被災したことから秋葉寺より龍蔵寺に秋葉三尺坊もまつりしています。御守も受けられます。



本堂の七面堂には掛川藩主、本田公が祈禱を受けた七面大明神をはじめ仏教の守護神が祀られています。



1 一雲斎

ICHUNSAI

宗派 曹洞宗
ご本尊 地藏菩薩



康正元年(1455)開創。開祖の川僧は大洞院で修行したのち、永平寺で後小松天皇の重病を祈禱し平癒したことで全国に名が知れました。川僧は諸国から集まった門弟が700人を超えていたと言われ、その一人が可睡斎の開祖となりました。後に家康の命令で一雲斎は可睡斎の末寺(本末顛倒)となったそうです。

2 天龍院

TENRYUIN

宗派 曹洞宗
ご本尊 釈迦牟尼如来



享禄元年(1528)に開創。翌年、松井信薫が病死のため葬られ、弟の宗信が二俣城主となりました。永禄3年(1560)に今川義元に従い出陣した際、宗信は桶狭間で戦死してしまいます。息子の助近が首級を持って戦場を脱出し二俣城に戻り、菩提寺である天龍院に葬りました。今でも宗信の首塚があります。

3 妙満寺

MYOUMANJI

宗派 日蓮宗
ご本尊 久遠実成本師釈迦牟尼仏



寛永19年(1642)に円詔院日閑上人により開山。里山の景色を見渡せる小高い丘の上に建ち、本堂隣の七面堂には掛川藩主の太田公が祈禱を受けた七面大明神をはじめ仏教の守護神が祀られています。付近の白山八幡神社は妙満寺の善神堂として始まり、祭典時には住職により祈禱が行われる、神仏習合の歴史が今も残っています。

4 法音庵

HOUONAN

宗派 曹洞宗
ご本尊 十一面観世音菩薩



文明4年(1472)開創。大正8年までは茅葺き屋根でしたが瓦葺きに替えられ、平成10年に老朽化のため再建されました。建て替えをした際に柱のほぞに「貞享二年棟上げ」と記されており、300年以上前に棟上げされたことがわかりました。また、一度も火事にあっていないため、大変貴重な500年来の過去帳が残されています。

5 永安寺

EIANJI

宗派 臨済宗
ご本尊 釈迦牟尼如来



貞治年間(1365頃)開創。足利義満から朱印状を賜りました。境内に祀られている波切不動尊は、文覚上人(遠藤盛遠)が伊豆に流される途中、遠江国の海上で大波に会い転覆しそうになった際に船先に建ち祈念したところ、不動尊像が現れ波風が静まったという言い伝えがあり、大変な信仰を集めました。現在は永安寺に祀られ、西の年に御開帳が執りおこなわれています。

6 野辺神社

NOBEJINJYA

祭神 大山咋命
ご利益 五穀豊穡、厄除けなど



昔は「山王社」とよばれていました。創立年代は定かではありませんが、古い資料によれば天正十五年(1587)に再建とされています。滋賀県の日吉大社と同じ山の様相(大山咋命)を記っております。

7 蓮台寺

RENDAIJI

宗派 真言宗
ご本尊 薬師如来



慶長年間(1600頃)に現在の場所に再建と伝わっています。現在は真言宗智山派のお寺ですが、かつては遠江一宮域の山岳密教寺院の中心であった岩室寺の一坊であったとも言われており、その由緒の一端を知ることが出来ます。またご本尊の薬師如来は平安期の作と言われており、蓮台寺の歴史を偲ばせます。

8 慈眼寺

JIGENJI

宗派 臨済宗
ご本尊 十一面観世音菩薩



天正14年(1586)に開創。現在の本堂は明治11年(1878)に再建され、昭和52年に拡張しました。その時の本堂が細江の金龍寺へ移築され、今でも使われています。上神増の大念仏は8月11日に慈眼寺の境内から始まり、最終日の15日にも境内で大念仏が行われます。

9 松久院

SYOUKYUJIN

宗派 曹洞宗
ご本尊 釈迦牟尼如来



寛永元年(1624)開創。明治22年(1889)に起きた大洪水によって村全体が甚大な被害を受けました。同じ頃、村の大部分を河川敷にする計画が始まり、寺を解体して移築する費用が捻出できませんでした。そのため、一言村の智恩齋に本堂を売却し、そのお金で養蚕に使っていた農家の建物を買い、本堂として再建しました。

10 最廣寺

SAIKOUJI

宗派 曹洞宗
ご本尊 延命地藏菩薩



文禄元年(1592)開創。明治の神仏分離令で秋葉寺が廃寺になった際に最廣寺の十五世住職が御嶽神社の信者の力を借り、可睡齋に秋葉三尺坊大権現の遷座を行いました。そのことにより今でも可睡齋の火渡りの催事は御嶽神社の大膳講員によって行われています。

豊岡の遠州大念仏

見てみたい

霊を鎮めるために始まった伝統文化

「遠州大念仏」は、静岡県西部地域に伝承するお盆の行事で、初盆の家で太鼓を勇ましく踊るようにして打ち鳴らし、歌枕を唱和し故人を供養します。三方ヶ原合戦における徳川・武田両軍の戦死者を弔うために始まったといわれています。また遠州地方の郷土芸能の一つです。豊岡地区では「大平」「合代島」「吉貴地」「松の木嶋」「三家」「大楽地」「上神増」の7つの組の大念仏が市の無形民俗文化財に指定され、伝統芸能の保存継承に取り組んでいます。



「舞ぐれの盆」での大平組の様子

三森神社のお堂の横にいま石と言われる大きな石があります。豊川藩で建てた新石といまが取れるという、昔言も残っています。



音「御湯平」と呼ばれていましたが「徳川家康が大平と改めたそうです。そのときにお寺も温泉山円通寺になったそうです。境内には眞葉師が祀られています。



500年前の、開創川伊僧師の装束が残されています。5回もの火災があったにも関わらず大切に残されているお寺。



天正2年、馬伏家城の軍勢で武田軍から逃げ延びた野辺御前討ち死した野辺義信と痛男の供養堂があります。供養堂は金兼堂時代のものだという研究結果もありちょっとミステリー



野辺神社のお祭りは、踊りや道楽目録など、その年ごとにいろいろ催しが行われ、若い方からお年寄りまで参加する賑わいのあるお祭りです。

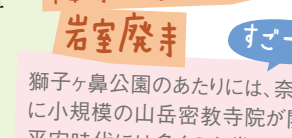


「てんはせんてん」で親しまれている地元のローカル線!文化財の指定を受けている馬車や地蔵もたくさんあります。

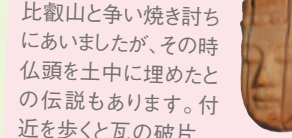


平安時代の密教遺跡 岩室廃寺

獅子ヶ鼻公園のあたりには、奈良時代に小規模の山岳密教寺院が開かれ、平安時代には多くのお堂があったとされる岩室寺の遺跡があります。岩室寺は、弘法大師が開いたという伝説もあります。残念ながら戦国時代に、比叡山と争い焼き討ちにあいましたが、その時仏頭を土中に埋めたとの伝説もあります。付近を歩くと瓦の破片や礎石なども見つかるかも。



血松塚古墳 全長約40mの前方後円墳です。かつて、古墳の崩れた大きな松を切り倒そうとした際に本公から血が流れ出したことが古墳の由来だそうです。



廣寺から出土したと伝えられる平安時代の大日如来の頭部